



早いもので、1学期も残り1か月となりました。  
心と体が乱れがちな「魔の6月」が過ぎようとしています。

## 「魔の6月」は クラスが育つチャンスです

～よそ行きの顔から「素」の自分へ～

### 6月にトラブルが増えるエビデンス

- ☁️ 天候の影響：雨で外遊びができず、エネルギーが発散できないストレス。
- 😊 緊張の緩和：4月の「よそ行きの顔」から、5月を経て「素」の自分へ。
- 📏 ルールの定着度：決めたルールが、まだ子どもたちのものになっていない。



### 担任が向き合っていること



「忙しさ」より「対話」を

担任もまた、この時期に学級の本物の姿と向き合っています。行事や事務作業に追われる時期ですが、だからこそ立ち止まって、子どもの声を聴くことを大切にしています。

### お部屋のまどから（校長コラム）

校庭のあじさいがみずみずしく色づき、いよいよ梅雨の季節がやってきました。しとしと雨の日が増え、お外遊びができない日が多くなると、子どもたちの元気いっぱいのエネルギーが教室にたまりがちになります。

実は、学校現場には昔から「魔の6月」という言葉があります。新年度の緊張がすっかり解け、祝日もなく、雨でちょっぴりストレスが溜まりやすいため、お友達同士のもめごとが増えやすい時期とされているからです。

🌧️ 教室のざわつきは、6月に始まるのではない。  
4月・5月の「がんばりの積み重ね」が表れたものなんです。

でも、私はこの言葉をただネガティブなものとは捉えていません。なぜなら、6月に子どもたちが自己主張を強めるのは、学級が大好きになって「安心して素の自分を出せるようになった証拠」でもあるからです。

4月のスタート時、子どもたちは新しい環境へのドキドキから、いわば「よそ行きの顔」で過ごしています。それが毎日の温かい関わりを経て、「この場所なら、自分を出しても大丈夫！」という大きな安心感に変わっていきます。

みんなが「素」を出せば、当然ぶつかり合いも生まれます。4月に決めたクラスのルールが本物になるための、大切な「成長のステップ」がこの6月なのです。

### 🏠 学校とお家、手をつないで

6月は、学校とご家庭がそれぞれの角度から子どもを見つめ直し、手を取り合える絶好のチャンスです。もしお家でお子さんの変化や、気になる言葉を見つけたら、いつでもお気軽に連絡帳や面談等で担任へ教えてください。雨の季節を乗り越え、ひと回り大きく育っていく子どもたちを、一緒に温かく支えていきましょう。



なぜ、6月は  
「荒れる」と言われるのか



### お家で見える心のサイン

お家で学校の不満や愚痴が増えたら...それはココロのデトックスができていない証拠です。

#### 💬 「学校がつまらない」

外でめいっぱい気を張っていた子が、お家で安心して心を緩められている、最高の「信頼のサイン」です。

#### 🗣️ 「〇〇ちゃん（くん）嫌い！」

お友達との距離がぐっと近くなった証拠。ぶつかり合いながら、人との付き合い方を学んでいます。

ふじわらした  
6月から藤原臣大先生が  
育児休暇から復帰しました。  
青井先生と交代して、3, 4年生の  
理科や英語などを担当します。



# 運動会！！

子どもたちが燃える姿・・・

勝ったら全身で喜び、負けたら悔しくて泣く。

一生懸命な姿を見せてくれて、ありがとう！



6年生、  
フル掃除を  
ありがとう！



そして、  
フル開き！



📢 学校からのお知らせとお願い

## 【熱中症対策について】

本校PTA活動の一つとして、この度、通学路にある「子ども110番」(主に事業所や会社)の方々に飲用水を置いていただくことになりました。下校時の熱中症対策としてご活用ください。

児島小学校PTA



STOP! 熱中症! ステッカー

## 【避難訓練の実施】

6月15日(土)の避難訓練「引き渡し訓練」への参加、ありがとうございました。実際に起きないことを祈りつつ、備えをしておくことは大切です。

